

**意見等**

テーマに関する意見、現状、課題および要望などを記入してください。

(市長)

- ・リーダーシップが必要
- ・住民の代表である。(市民のために働く意識)
- ・市民の立場に立つ(市民本意、弱者への目配り)
- ・積極性(問題提起へのフォロー、イエスマンで固めない、やさしすぎない)

・実情把握(市長は地域の実情をもっと知ること、三現主義を大切にすべし、市民の意見をよく聴くこと、市の管理、監視)

・ビジョン(無駄の削減、まちおこしの具体像をもつ、明確な基本計画を示す)

・経営力(市長は政治家であり経営者たるべき、経営感覚を持つべし、市長としての経営力、交渉上手であるべし、国との交渉力、中央からお金を引っ張り出す。)

・公約実現(住民に業務の報告、市長の仕事の明確化、職員以上の努力が必要、自分の夢を語り、受け入れられるよう努力すること。)

・市民参画(市民の参画促進、市民の声を大切に、オンブズマン制度の検討)

・その他(職員が仕事をしやすい環境づくり)

(市役所)

- ・合理化(電子化による予算削減、合理化、効率化)
- ・体制(縦割り行政をやめる、早い意思決定、最後のセーフティネットという自覚)
- ・その他(新住民対策)

(職員)

- ・公僕(市民の公僕である認識を持つべし、サービス業と自己認識すべし)
- ・心構え(公僕という意識、市民本意の立場、丁寧な対応、正確な引継ぎ、変化に臆病にならない)
- ・市民目線(一般企業以上に勤勉であること、汗をかくことをいとわない、市民の生活を守る、窓口の相談に親身になって対応する、親切でなければならない)

- ・専門性(専門知識をもってほしい、自己研鑽に努めるべし)
- ・資質(覇気が必要、明るいこと、仕事への熱意と責任感、レベルの差をなくす、コンピューターに精通、職員のエースが必要、市民の声への迅速な対応)
- ・その他(たらい回し対策)

**実現するためには**

- ・市長は、市民の代表であるという認識をもって、リーダーシップを発揮し、ビジョンを示すべきである。
- ・市長は、実情を把握し、公約実現に向けて市民に受け容れられるよう、職員以上の努力を行うべきである。そして公約については、市民に逐次報告すべきである。
- ・市長、職員は、ともに市民の立場に立つ。
- ・市長は、経営者として職場環境の整備を行い、職員のやる気を引き出す。
- ・市長に対する政策評価を行う。

- ・市は、オンブズマン制度の確立を目指す。
- ・市は、ボランティア活動団体等を活用することにより市民協働を推進する。
- ・市は、徹底的な情報公開、情報提供を行うことにより、市民への説明責任を果たすべきである。
- ・市は、前例主義にとらわれない、柔軟で機能的な組織作りを行うことによって、合理化・効率化を図り、効果的な施策を実施する。
- ・市は、信賞必罰、能力主義およびプラス志向の人事評価を行うとともに、年功序列の見直しを図り、職員研修を通じて職員としての資質向上を図る。

- ・職員は、勤勉であるとともに職責に対する熱意と責任感をもち、常に市民の立場で対応すべきである。
- ・職員は、作業のマニュアル化などにより作業の標準化に努める。
- ・職員は、公僕という意識を常に持ち、その専門性・能力を高めるべく自己研鑽に励むべきである。

**まとめ**

- ・市長は、市民の代表であるという認識をもって、常に市民の立場に立ったうえでリーダーシップを発揮し、まちづくりのビジョンを示すべきである。
- ・市長は、実情を把握したうえで、経営感覚をもって、公約実現に向けて職員以上の努力を行うべきである。そして公約については、市民に逐次報告すべきである。
- ・市長は、職場環境の整備を行い、職員のやる気を引き出す責務がある。
- ・市は、ボランティア活動団体等を活用することにより市民協働を推進する。
- ・市は、オンブズマン制度の検討、徹底的な情報公開及び情報提供を行うことにより、市民への説明責任を果たすべきである。
- ・市は、前例主義にとらわれない、柔軟で機能的な組織作りを行うことによって、合理化・効率化を図り、効果的な施策を実施する。
- ・市は、信賞必罰、能力主義およびプラス志向の人事評価を行うとともに、年功序列制度の見直しを図り、職員研修を通じて職員としての資質向上を図る。
- ・職員は、公僕であるという意識及び勤勉であるとともに職責に対する熱意と責任感を常に持ち、市民の立場で対応すべきである。
- ・職員は、その専門性・能力を高めるべく自己研鑽に励み職員としての資質向上に努めるとともに、職務についても作業の標準化を目指しマニュアル化を検討するなど、不断の改善努力を行う。

